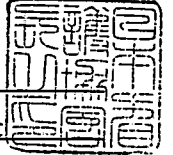


日本財団補助金による
 1998年度日中医学協力事情報告書
 - 学術交流に対する助成 -

1998年10月7日

財団法人日中医学協会
 理事長 中島章殿

報告者氏名 見藤 隆子
 所属・役職 日本看護協会会長
 所在地 〒150-0001 渋谷区神宮前 5-8-2
 電話 03-3800-8344 (直通)



講演集・シンポジウム写真等学会に関する資料を添付

学会・学術交流の名称 第5回日中看護学会
 テーマ 看護研究と最新の動向
 主催団体 中華護理学会
 代表者 理事長 曾熙媛
 期間・開催地 1998年9月11日-12日、中国、杭州
 招聘・派遣目的 標記学会の共催

1. 招聘・派遣研究者 人数 人 記入欄不足の場合は別紙を添付。

氏名	所属・役職	研究分野

滞在期間 自 年 月 日 至 年 月 日

第5回日中看護学会

テーマ：看護研究と最新の動向

日本側代表者 日本看護協会会長 見藤隆子
中国側主催代表者 中華護理学会理事長 曾 熙 媛

学会報告

日本看護協会国際部係長 小山なを美

【学会概要】

期 日：1998年9月11日-12日

会 場：中国、杭州「西子賓館」

主 催：中華護理学会・理事長 曾 熙 媛

共 催：日本看護協会・会長 見藤 隆子

参加者：日本/82名、中国/96名

演題数：日本/30題、中国/26題

特別講演：日本/井部俊子第二副会長「日本の臨床看護実践を方向づけた方法論」

中国/張亜卓（北方医院）「競争者の健康リスクの分析と対策」

全体会：日本/岡谷恵子常任理事「日本における専門看護婦の機能とその評価についての研究」

中国/姜東蘭（北京中医医院）「八綱診断法と自然療法の中国伝統医学の看護における応用」

プログラム：別添のとおり

会場は西湖の辺、毛沢東の別荘として使われていたもので、格調高く、趣があり、参加者には好評であった。1分科会場については、構造上の問題があり、スライドが見えにくかったのが唯一の難点である。

日本の特別講演は、これまでに日本が影響を受けた看護理論、方法論を簡潔に紹介した上で、それらの導入についてはクリティカルな視点をもつことが重要であると述べ、海外との交流が増え、様々な理論、技術が導入されつつある中国への示唆となった。

これに対し、中国の特別講演は西洋医学的手法、全体会は中国独自の医学に基づく発表であり、中国の看護観の変化と、独自の看護手法の展開が伺えた。

中国からの一般発表では、今夏の大洪水により、7名が参加できず、被害の全土的な規模が実感された。このため、参加者からの発案で寄付を集め、本会からの見舞金とあわせ、約12万円をお贈りした。

今回の学会には、青年海外協力隊員として中国に滞在する日本の看護職5名も参加し、また、現地で中国語を勉強した看護学生が、急遽通訳の一人として参加するなど、草の根レベルでの交流の広がりも実感できた。

会を重ねるごとに内容が充実し、交流の深まりを実感している。中国の看護観に患者にどのように寄り添うか、の視点が出てきたのも今回の大きな収穫である。

来年は中華護理学会が創立90周年を迎え、祝賀会を予定している。これに併せ、来秋、北京で第6回日中看護学会の開催が決定された。本会の会員には、より臨床に結びついた発表を奨励したいと考えている。

第5回日中看護学会プログラム

9月11日(金)

8:30 開会式(司会:王春生、岡谷恵子)

挨拶:曾 熙 媛(理事長)

見藤隆子(会長)

来賓講演:林 菊 英(名誉理事長)

9:00 特別講演(座長:王春生、見藤隆子)

「競争者の健康リスクの分析と対策」 張 亜 卓(北方医院)

「日本の臨床看護実践を方向づけた方法論」 井部俊子(第二副会長)

10:30-10:40 休憩

10:40 全体会

「八綱診断法と自然療法の中国伝統医学の看護における応用」 姜 東 蘭(北京中医医院)

「日本における専門看護婦の機能とその評価についての研究」 岡谷恵子(常任理事)

12:00-13:30 昼食

	分科会Ⅰ(座長:劉淑媛、井部俊子)	分科会Ⅱ(劉書琴、岡谷恵子)
13:30	<p>胡 秀 華「看護管理における病棟運営会議についての検討」</p> <p>大島敏子「職場診断フェッカリストの開発とこれを用いた総合診断の方法」</p> <p>鄭 小 霞「患者への健康教育の評価について」</p> <p>大宮孝子「過去8年間におけるMRSA感染症の現状と今後の課題」</p> <p>王 金 婷「口腔科患者が自己申告する全身疾患罹患状況の信頼性についての研究」</p>	<p>鈴木美恵子「在宅高齢者と家族看護の状況—北海道帯広市と北京宣武区の比較」</p> <p>彭 碧 芳「地域衛生サービスの効率的運用の探究検討」</p> <p>六角遼子「高齢者観の日中比較—老人看護の基礎的課題に関連して」</p> <p>程 其 梅「地域での脳卒中早期回復看護」</p> <p>岸 英子「看護学生の職業意識の日中比較」</p>
15:00-15:20 休憩		
15:20	<p>兒玉尚子「血液透析を受けている人の日常生活についての調査」</p> <p>向 晶「持続性血液透析患者の家族に対する心理健康状況調査分析」</p> <p>米田純子「上部消化管内視鏡検査における感情情報提示の効果」</p> <p>姚 良 英「内視鏡による胆嚢切除術後の併発症の観察及び看護」</p> <p>上滝博子「婦人科領域で看護に求められるインフォームド・コンセント—手術を受けた患者の調査から」</p>	<p>馮 瑾「普通外科患者における術後の疼痛反応と焦慮気分との関連性の研究」</p> <p>森山比路美「プリゼプターシップによる新人ナースの育成」</p> <p>李 保 蘭「患者中心の看護についての検討—勤勉及び情感の重要性」</p> <p>澤村まさ子「これからの院内教育—私達の国立病院での取り組み」</p> <p>郭 風 仙「当院在職看護婦の継続看護学科教育と実施管理」</p>
16:35		
18:00	懇親会(司会:王春生)	

9月12日(土)

	分科会Ⅰ (座長：劉淑媛、富田幾枝)	分科会Ⅱ (座長：劉書琴、鈴木美恵子)
8:30	<p>銭 惠 珠「CAPD 患者地域看護の効果の分析及び体験会得したこと」</p> <p>播本雅津子「日本の訪問看護の現状」</p> <p>皮 紅 英「急性心筋梗塞の静脈血栓溶解治療の入院前処置及び看護」</p> <p>石井八重子「日本の訪問看護ステーションの実態と課題」</p> <p>青 華「臨床看護においていかに患者と意思疎通の機会を掴むか」</p> <p>山城久典「保健所が 119 の機能と役割に関する一考察」</p>	<p>高 梅 娟「119 例の高濃度ヘリン塩水の静脈内保留置入による双腔管抗凝固作用の臨床実験」</p> <p>石原紀美子「ファジー位分娩の導入」</p> <p>洪 雅 蓉「尺澤、内関つぼへの注射による肺結核大咯血の治療」</p> <p>後藤幸子「授乳室環境の設計計画についての人間工学的基礎研究—授乳時における褥婦の空間配置と心理的關係性」</p> <p>李 洪「146 例のⅡ型糖尿病の臨床分析及び看護研究」</p> <p>太田にわ「乳幼児の母親の育児ストレスに関する研究」</p>
10:00—10:20 休憩		
10:20	<p>喻 海 燕「思春期の機能失調による子宮出血に対するホルモン代替の人工周期治療の心理調査と分析」</p> <p>松尾和枝「生活習慣病予防のための地域看護の課題—小学生の健康状態と日常生活習慣の関連性」</p> <p>黒 連 芝「漢方医学における看護技術の発展および臨床応用」</p> <p>関島英子「地域診療所の育児相談に見る母子の健康上のニーズ」</p> <p>張 慧 敏「イントラシナグライン眼底血管造影に伴う看護から体得したこと」</p>	<p>皮 海 珍「漢方うがい薬を用いた急性白血病口腔感染治療効果の観察」</p> <p>大井伸子「両親学級への取り組みと参加者の実態」</p> <p>魏 志 華「意識覚醒患者に対する呼吸器による治療時の心理看護」</p> <p>臼井雅美「父性性に関する研究—日本男性の性役割観の特徴と父子関係及び父親像との関連」</p> <p>馬 捷「双顎奇形を正顎外科で矯正治療した患者の臨床総体看護の実施について」</p>
12:00—13:00 昼食		
	分科会Ⅰ (座長：劉淑媛、松村幸子)	分科会Ⅱ (劉書琴、宮地緑)
13:00	<p>肖 柳 紅「高齢者の生活習慣が健康に及ぼす影響—地域訪問サービスに関する対策の検討」</p> <p>結城美智子「世帯構成および年齢区分による高齢者の知的能力と生活活動状況—農村地域における老人クラブ参加者を対象として」</p> <p>邢 俊 華「老年心血管内科における心電遠隔測定への応用」</p> <p>小山幸代「Jグループホームに入居した痴呆性高齢者に見られた変化—入居直後から6ヶ月まで」</p> <p>趙 禾 欣「機械的換気治療後の COPD 患の呼吸機能と体力機能回復訓練についての研究」</p> <p>羽原美奈子「障害を持つ人の健康感と社会的支援の関連」</p> <p>李 愛 玲「患者を中心とする腰椎間板溶解術に関する看護」</p> <p>山口曜子「生活習慣病予防の為の産業看護の実際—IGT 患者の生活指導をとおして」</p> <p>霍 春 暖「脳卒中方麻痺患者の早期リハビリテーション看護について」</p>	<p>下坂真知子「看護過程を導入した臨床実習の検討—中国における日中看護教師共同による試み」</p> <p>王 仙 園「上級看護学生卒業論文の口答審査の試み」</p> <p>山本よしる「老人福祉施設及び訪問看護ステーションにおける実習の効果—学生の課題学習からの学びを分析して」</p> <p>馬 志 華「看護個別分析案における PBL 教学法の応用と実践」</p> <p>鈴木けい子「看護学生が抱くイメージと学習による変化」</p> <p>戴 風 君「高位脊髄損傷患者の尿流動態検査時に起こる血圧変化の観察と看護」</p> <p>内野幸子「看護学生の健康意識と健康習慣」</p> <p>于 志 紅「第3度褥創の治療に対する『活血破瘀膜』の効果の検討」</p>
15:15—15:45 休憩		
15:45—16:30 閉会式 (司会：曾熙媛、見藤隆子)		